

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも...

Vol.85

答志島スカイラン



先月、「美し国三重市町対抗駅伝」が、県庁をスタートして伊勢の県営総合競技場をゴールとする区間で争われました。小学生から中高等学校人まで1.28キロから最長6.925キロの区間、全42.195キロを10人がタスキをつなぎました。



午前8時45分、小学生女子が県庁前をスタート

大会は今回が18回目、鳥羽市は29市町中17位。14市の中では12位という結果でした。上位は10万人を超える人口の市が占めるのはいたしかたのないところですが、鳥羽市のよ

以下の数千人規模の町はチーム編成も大変なようです。とはいえ、タスキをつなぐ、バストを尽くすということにおいては、人口規模や順位は関係ありません。繰り上げ出発になるまいと頑張る姿はいつ見ても感動的で、上位チームには味わうことのできない展開と



競技場の大画面には鳥羽市チームのアンカーが

ところで、みなさんから見ると私にはスポーツが得意そうに見えますか?それとも運動音痴

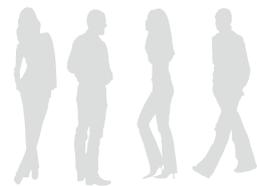
に見えますか?高校時代、唯一表彰台に上がったのは校内駅伝大会での区間賞。学年10クラスで3学年、つまり30人の中の一歩です。クラブ活動は軟式テニス部でしたが、長距離は速かったですよ、実は。

また、かつて鳥羽でも開催されていた中学校の市内の駅伝大会のことも思い出しました。私は加茂中のBチームでした(要するに二軍ですね)。コースはなんと答志島です。答志を出発して桃取で折り返し、答志にゴールする(逆かな?)コース設定でした。いつまで続いたんでしょう。私は3区か4区だったでしょうか。両集落以外はほぼ山間部を走っている

ので応援も何もありません。ただただ、人里離れた登り坂を走っていたこと、その風景は鮮明に憶えています。その時の駅伝が私の答志島に渡った最初だったのかと思います。今フルマラソンなどの開催がブームになっていますが、答志島の新名所ブルーフィールドやレイフィールドを組み込んだ「船に乗って行くジヨギング」あるいは島の山中を駆けるトレイルランというものも面白いかもしれませんね。そして名称は「答志島スカイラン」。いかがでしょう!

イコール パートナー シップ

Vol.155



ミモザの日

市民課人権・市民交流係

☎ 1126

1904年3月8日、アメリカニューヨークで、女性たちが参政権を求めてデモを行いました。これをきっかけに女性の地位向上を呼びかける動きが世界で活発化し、この動きはアメリカで婦人参政権が認められたあとも続きました。

「国際女性デー」は、国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、その後、1977年の国連総会で議決されました。女性の社会参加と地位向上を訴えるとともに、女性の素晴らしい活躍と、勇気ある行動を称えるとして、毎年3月8日を国際女性デーに定めています。日本で初めて女性参政権を行使したのは1946年4月10日です。戦後初めての衆議院議員総選挙が行われ、約1380万人の女性が初めて投票し、39名の女性国会議員が誕生しています。

3月8日は「ミモザの日」とも呼ばれています。イタリアでは3月8日は「Festa Della Donna(フェスタ・ドラ・ドンナ=女性の日)」「Festa Della Mimosa(ミモザ祭り)」と呼ばれ、女性に感謝を込めて、母親や妻、友人、会社の同僚などに愛や幸福の象徴でもあるミモザを贈る習慣があることから、黄色いミモザの花が国際女性デーのシンボルとなっています。3月になるとイタリアの街中ではミモザの花が咲き乱れ、随所でミモザの花が飾られたり売られたりします。ミモザはイタリアでは自生しており、貧富の差に関係なく贈ることができ、1946年の女性の日、イタリアの女性連合によってミモザの花を3月8日に贈ることが提唱されました。

冬の終わりと春の到来をミモザが教えてくれるのです。